

KBS

ケイビーエス株式会社

www.kbsjapan.com

e-mail : info@kbsjapan.com

〒544-0033 大阪市生野区勝山北2-16-17

TEL 06-6716-5665 FAX 06-6711-2804

【社内報ナルゲ】

날개 (ナルゲ)とは韓国語で翼(つばさ)を意味します。



vol. 33

January 2005

謹 賀 新 年

韓国全羅南道木浦市の儒達山山頂から眺める夜明け
(2004年11月 i-まだん韓国研修旅行にて撮影)

より新しい次元での日韓交流に貢献を

あけましておめでとうございます。

社長に就任してから、あっという間に一年が経ちました。昨年お世話になった皆様に心より感謝申し上げます。

昨年の営業活動では、なんとといっても大阪のJP2004と東京のJGAS2004という2回にわたる展示会出展が思い出深いです。たった1区画の小さなブースでしたが、たくさんの方にご来訪いただき、KBSの多言語業務をアピールすることができました。展示内容については、まだまだ改善の余地がありますが、初めての出展にしては合格点をつけれるのではないかと思います。

さて、ご存知の通り昨年は空前の韓(ハン)流ブームがまき起こり、日本と韓国の交流がこれまでとは比べ物にならないほど活発化した一年だったと思います。また、今年の日韓国交正常化40周年を迎え、「日韓友情年2005」として両国で様々な交流事業

が行われるそうです。

「…時代が変わったなあ…。」

日本に生まれ育った韓国人として、ずっと幼いころから抱いてきた「日本と韓国が本当に近くて近い国になれば」という夢が、絵空事ではなく、確実に実現に近づいていることが、とてもうれしく思います。

ケイビーエスは、これまでも多数の韓国語出版物に携わり、少なからず日韓交流に寄与してきたという自負があります。そしてこれからの時代にこそ、これまで以上に貢献できることがたくさんあると思います。本年も、より新しい次元での日韓交流に貢献すべく、仕事に励んでいきたいと思っております。

잘 부탁드립니다(よろしくお願いします)!

代表取締役 高 允 男

鳳@bongの昔を訪ねて

会長 高 仁 鳳



母と兄(15才)とボン(6才)(1947年)



母はこの部屋で亡くなった



南中洞の家の前で兄と(1966年)

☆プロローグ

1950年、ソウル。

高校生の少年とその兄がいた。ふたりはとても仲がよく、兄は弟のためならどんなことでもする。弟を大学へ入れるため、兄は学校へも通わず、靴の修繕屋をしている。6・25韓国動乱が起り、ふたりはこの戦争に巻き込まれる……。

2004年6月25日、日本で封切られた韓国映画「ブラザーフード」の始まりの部分だ。私は封切り前に試写会のチケットを読売テレビの横山さんからもらって見た。

見終わると、急に1950年頃の自分と、兄のことが思い出された。私の兄弟とこの映画の兄弟がよく似ている。私の兄も私のこととなると、自分のことを顧ることなく弟のことを何でもしてくれたのだ。

すぐ、妻のパンジャに「行こう。ボンの昔を訪ねて。」ということで、真夏の7月にふたりは、裡里(イリ、今の益山)やソウルなどを訪れた。

家族との別れ

ボンは1950年の6・25韓国動乱が起きた時は、全羅北道裡里に住んでいた。ボンは国民学校(小学校)3年、兄は中学4年生(高1)だ。

ボンの通っていた裡里中央国民学校では、ボンのクラスはすべての授業が終わり、教室の生徒たちが立ち、先生に向かって別れの挨拶をしている時だ。

「先生、さようなら…」挨拶がまだ終わるか終わらないその時、グワーン!と大きな爆発音がした。

ボンは気を失い、机の下にうずくまった。気がついて教室の周りを見ると誰もいない。ボンはランドセルを担いで学校を飛び出した。学校の外は人々が右往左往している。

ボンは家へ向かって走った。家は裡里駅の近くに

ある中央市場の中だ。

ボンの家は、明太、するめ、わかめなどの乾物屋をしていた。家族は母と兄、そしてボンの3人暮らしだ。寝るのは店の屋根裏部屋。ここの市場で店を出している人たちは、ほとんどが屋根裏に住んでいる。屋根裏は隣りと筒抜けだ。

ボンの隣りの店は米屋だ。娘が3人いて、いちばん上が小学校6年ぐらい、2番目がボンと同じ小学3年、いちばん下がまだ幼稚園ぐらいだ。ボンは屋根裏から隣りの家に行ったりして、この女の子たち3人とよく遊んだものだ。

家では母と兄が心配して待っていた。ボンを見た母は「無事帰ってきたか。」と言ってボンを抱きしめた。

ボンたちは家から出て、土手に立って空を見上げてみると、また飛行機が飛んできた。逃げようとする、兄は、「心配ない。この飛行機は味方だ。」と言った。

ほんとうだ。機体には米軍のマーク、白い星をつけていた。そう心配ない。そう思っていた時である。飛行機は急に爆撃してきたのだ。いったいどういうことなんだ?

裡里駅の方から黒い煙がモクモクと上がっている。飛行機からビラがまかれた。それにはブルーの国連のマークがあって、こう書かれていた。私たちはしばらくの間後退し

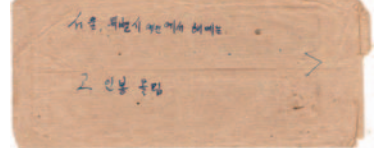
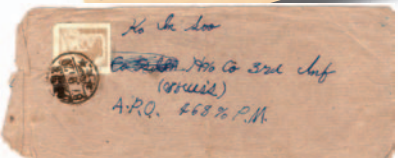
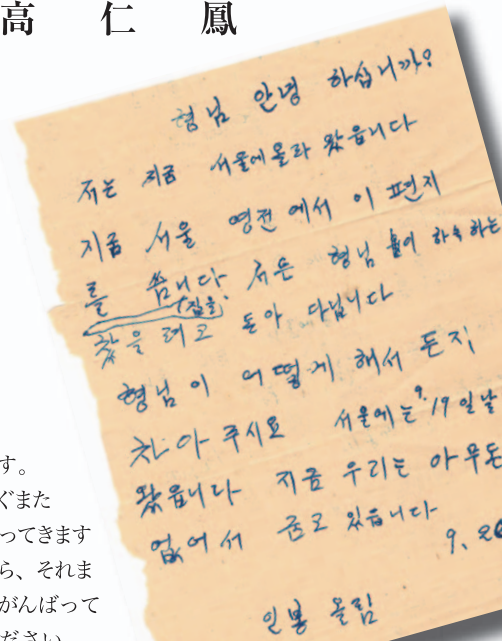
ます。

すぐまた戻ってきますから、それまでがんばってください、というような内容だ。

裡里駅

は、ソウルから木浦までの間にいちばん大きい駅だ。線路も沢山あり、機関車の修理などもここで行っている。米軍機は北朝鮮の人民軍の南下を遅らそうと、鉄道を遮断するために、この駅を爆破したようだ。この爆撃は1950年7月11日の出来事だったと、裡里駅前の慰霊碑に書かれている。

ボンたちはヤクスト(薬水場)という約5キロほど離れた小高い山に避難した。その山には寺があつて、寺のそばにムシロで小屋を建て、そこに住むことにした。雨が降ると雨もりがし、ずぶぬれに



(上)手紙本文「ソウルにきています。2日間も食べていません。兄さん何とかしてください」とある。(中)消印87.9.20とある。87とは増紀4287年、つまり1954年9月20日のことだ。(下)発信者の住所が、「ソウル駅でさまよう」となっている。



1950年裡里駅での空爆による犠牲者のための慰霊碑(2004年)



働いていた散髪屋の前で(1966年)

なった。でもあったかい季節だったので、まだなんとかしのげた。

数日が経ち、遠くから大砲の音など銃声が聞こえてきた。それがだんだん近づいてくる。ボンたちはみんな寺の本堂へ入った。80人ぐらいいただろうか。みんな息を殺してじっとしていた。ボンは母に抱かれて、目だけを動かしながら、これから何が起きるのか、不安そうにしていた。

しばらくして、大砲の音も、銃声も聞こえなくなって、静かになった。やがて、戸が開いて、銃を構えた兵士数人が入ってきた。その兵士は今まで見たことのない軍服を着ていた。驚いている人たちに兵士は言った。

「心配することない。私たちは人民軍だ。」

「負傷している兵士がいる。だれか手当てを手伝ってくれ。」

「アジュモニ(おばさん)たちは、飯を炊いてくれな

いか。」
この日から裡里は、国連軍が仁川に上陸するまでの、約3カ月間、人民軍の支配下になった。中国軍の参加で、再び戦争は悪化した。

ボンたちは店を開けることができなくなった。たくわえもなくなり、市場の店を手放し、南中洞のバラックへ引っ越すことになった。

兄は「国民兵」として引っ張られ、母は病気に かかって、医者にも診せることもなく、1952年2月にこの世を去った。いまだに母が何の病気で死んだのか分からない。

ひとりぼっちの旅立ち

1952年。ひとりぼっちになったボンは、叔父さんの家に引き取られることになったが、叔父さんも兵隊にとられ、叔母さんがひとり働いて家族を養わなければならず、ボンを養う余裕などなかった。

自分の食いぶちは何とか自分で探さなければならぬ。ボンは袋をひとつ持って、くず拾いをすることにした。鉄屑やガラスの破片、鉄砲玉の薬きょうなど、拾ってくずやに持って行けば、いくらかのお金になる。

ある日、中央市場の以前ボンが住んでいたところを通ることになった。隣の米屋の前を通ると、米粒が道に落ちていた。腹が空いているボンは、その米粒を1つぶ1つぶ拾って口の中へ入れた。それを見ていたその家の3人娘の末娘が、ボンの米粒を拾う姿を見て、「ぐぐー、ぐぐー」と、鶏にえさをやるように、米を道端に撒き散らかした。

ボンはそれを見て、『どうして、くれるのなら手のひらにしてくれないのか。私が隣りに住んでいたボンであることは知っているはずじゃないか』。

悔しかった。胸に込みあげる悔しさをぐっとこらえて、黙ってばらまかれ米粒を拾った。それを見て、その女の子は、その姿が面白いのか、続けて「ぐぐー」と言いながら米を撒いた。

ボンは叔父さんの家に居ることが辛かった。育ち盛りのボンはよくお腹が空く。

ある夜中、あまりにもお腹が空いたので、ご飯を盗んで食べようとして見つかり、叔母さんにひどく叱られた。そのことは50数年過ぎた今も忘れられない。

叔父さんの家を飛び出した。ソウルへ行くことにしたのだ。兄さんは戦場にいるが、ソウルから手紙が来たことがある。軍隊で知りあった友だちの家なんだろう。行けばなんとかなると思った。

汽車に乗ってソウルへ行ったら。もちろん、無賃乗車だ。手に持っているのは、わら半紙のノート、封筒、そして兄から送ってもらった数枚の切手だけだ。

ソウル駅で下りるとき、切符を持ってないと、駅員から咎められたが、上記のもの以外は何にも持っていないし、チビだし、捕まえておいても仕方がないと思ったのか、見のがしてくれた。

いなかの裡里駅に比べればソウル駅はとても大きい。外へ出たが、どこがどこなのかさっぱりわからなかった。戦争でソウル市街も焼け野原であった。ただ、ソウル駅から見えるのは高くそびえ立っている明洞聖堂だけだった。たしか当時の高い建物はこのカトリック教会の建物しかなかった。

兄の友人の家の番地、中区草洞106番地。そこを捜し求めて歩き出した。兄さん宛に手紙も出した。

「いま、ソウル駅でさまよっています。2日ほど何も食べていません。何とかしてください……。」

いま思い返してみると、この手紙を読んだ兄はどんな気持ちだったろうか。

やがて、兄の友人の家を探しあてた。しかし、ここもとても貧しい家で、ボンを食べさせることはできない。幸い隣の家が散髪屋だった。その主人から、「うちで働くか？」と誘われた。給料はないが、飯と寝るところは提供するという。



兄と裡里駅前(1966年)

「はい、働きます。飯さえ食べればいいと思った。とにかく生き延びなければと思った。この散髪屋は首都劇場(今のスカラ劇場)の裏にある首都理髮館だ。ボンはここで約3年働いた。

10年後の故郷

1966年8月。あれから10年がたった。

ボンは父のいる日本で大学2年になり、「第1回在日僑胞学生夏季学校」に参加した。10年ぶりに再び韓国を訪れることになった。10日間ソウル大学校文科大学で勉強をし、あと10日間はプサン海洋大学校で、合わせて20日間の勉強だった(<http://www.inbong.com/bong/history/kakigakkou/>)。夏季学校の勉強が終わると、里帰りができた。

その里帰り期間を利用して、兄と一緒にソウルと裡里を訪ねて行った。ソウルの住んでいた家や散髪屋、10年前とあまり変わっていなかった。裡里の住んでいた場所も訪ねて行った。母が亡くなった部屋もそのままだった。

中央市場へも行ったが、あまり変わっていなかった。隣の米屋もそのままであった。米屋のお父さんが店番をしていた。少し話をすると、隣りに住んでいたボンであることをすぐ思い出してくれた。

「お、ボンか。久しぶりだね。」

ボンは末っ子の女の子のことを聞いた。

「ああ、あの子は病気で死んだよ。」という返事。ボンはがっかりした。

『あの時、米を手渡ししてくれたら、どんなにありがたかったか』を話しかけたのだ。あの時のことを、娘の父には言えなかった。ボンは何も言えず、その場を離れた。

あのときの手紙

2004年7月。パンジャとふたりで「鳳bongの昔を訪ねて」釜山から裡里、ソウルなどを訪ねた。すっかり昔と変わっていた。裡里の母が死ぬまで住んでいた家も、ソウルの働いていた散髪屋も、もうなかった。

兄も13年前、この世を去った。兄が住んでいたアパートの倉庫を探したら、50年前、私がソウル駅から送った手紙が出てきた。

☆エピソード

紙面の関係で、日本からどのようにして韓国・裡里へ渡ったのか、また韓国からどのようにして再び日本に渡ったかは書いていない。別の機会に書くことにしよう。

だって、韓国から日本に来るのに、1957年5月1日に出発して、日本大阪に着いたのがその年の7月3日であった。この部分だけ書いてもひとつの面白い作品になると思う。

いつか「鳳bongの昔を訪ねて」対馬編を書くために、パンジャと対馬へ行ってみよう。

また、紙面の都合で兄の出番が少なかった。これらも別の機会に書くことにしよう。

ドイツ語翻訳者 池田ビルギットさん

ちょっと知られていない ドイツの話

ドイツでのクリスマスの準備時期は12月24日の4週間以上前から始まる。アドベントという期間で、4本のロウソクの付いたテーブル用リースに、毎週日曜日1本ずつロウソクに火をつけていく。4本全てに火がつくとクリスマス目前となる。

ドイツの子どもに不可欠なものは、アドベント・カレンダーというもの。1から24までのドアが付いたカレンダーで、12月に入ると毎日一つずつ開くことになる。ドアの裏に絵の付いているカレンダーもあるが、一番人気があるのはチョコが入っているものだ。最近日本でも見かけるようになった。

アドベントにはそれぞれの家でクリスマス・クッキーやクリスマス・ケーキ(シュトレーレン)作りをする。また、家の中や庭などに飾りを付ける。最近人気があるのは「クライミング・サンタさん」で、家の外壁を登り煙突から入ろうとしている様子のサンタさん人形だ。

そして、ロウソク4本に火がつき、カレンダーのドアがすべて開いた日の12月24日、家族そろって静かにクリスマスを祝う。

その日の夕方にキリストという子どもが生まれ、その子がプレゼントを持ってきてくれる。



4本のロウソクの付いたリース

Not so bekannte Tatsachen über Deutschland

In Deutschland beginnt die Vorbereitungszeit für Weihnachten schon mindestens vier Wochen vor dem Heiligen Abend. In dieser sogenannten Adventszeit wird am Adventskranz, einem geschmückten Kranz mit 4 Kerzen, an jedem Sonntag eine Kerze mehr angezündet. Wenn alle 4

Kerzen brennen, steht Weihnachten vor der Tür.

Für deutsche Kinder in der Adventszeit unverzichtbar aber ist der Adventskalender. Dieser Kalender hat 24 Türen von 1 bis 24 und ab dem 1. Dezember wird jeden Tag eine Tür aufgemacht. Es gibt Kalender mit schönen Bildern hinter jeder Tür, am beliebtesten sind aber die Kalender mit Schokoladenfüllung. In letzter Zeit findet man diese Kalender gelegentlich auch schon in Japan.

In der Adventszeit werden dann in jeder Familie Plätzchen oder Stollen gebacken. Außerdem werden das Haus und der Garten weihnachtlich geschmückt. Eine besonders beliebte Neuheit in den letzten Jahren ist der „Kletternde Weihnachtsmann“, eine Weihnachtsmann-Puppe, die außen an der Hauswand hinaufklettert.

Wenn am Adventskranz alle 4 Kerzen brennen und alle Türen des Adventskalenders geöffnet sind, dann ist Weihnachten. Die Familie versammelt sich am 24. Dezember, um gemeinsam und beschaulich Weihnachten zu feiern.

In dieser Nacht wird das Christkind geboren, das an diesem Abend die Geschenke in jedes Haus bringt.

ロシア語翻訳者 セミョーノフ・コンスタンチンさん

新しいミレニアムを迎えるため、 カリーニングラードへ

1999年の冬。少し長めの休暇を取り、新しいミレニアムをロシアの家族と迎えるため、妻と二人で私の実家、今はロシアの飛地、カリーニングラードへ。その二週間はお祭り騒ぎ。カソリッククリスマス、お正月、正教の聖誕祭、「旧い新年」を家族と友達と飲み明かす。

ウォッカとベリメーニで熱烈な歓迎を受け、ほろ酔い気分で「ヨールカ」飾りに移った。飾り物が一年眠った昔風の丈夫なトランクから適当によさそうなのを取り出し、床にならべてから決めるといった手順。埃で喉がいがらっぽくなり、くしゃみが出る。母が何かをつぶやいて、トランクの底に敷いてあった古い新聞紙を埃とガラスの破片をこぼさないように両手でゆっくりと持ち上げ、キッチンのごみ箱に払ってまた敷く。ふと見ると、私が生まれた1972年より5年も前の新聞紙が敷かれていたのだ。記事も宇宙開発の話題から共産党中央委員会総会の報告まで、時代の香りを漂わせる。これが時空の交差点。神秘的なモメントを味わう。「電気蟻んこ」が背中を擦る。

ソ連で生まれ育ち、もはや人生の三分の一を日本にすごしている私にとって、帰国はちょっとした冒険と化した。過去の噴出、そして新鮮さと驚き。いつも何かを発見し現実(日本)に戻ってくる。今は記憶と夢の混同の産物としか見えぬ。モスクワの地下鉄の車内、換気口から降る雪…毛皮に身を包み木ぞりを引くママと、そのそりに偉そうにまたがりアイスをなめなめ、

モコモコ着込んだ坊や…「ソビエト・シャンパン」を片手に友人宅への新年挨拶めぐり…モスクワのカフェ、中年ウエイトレス。ミニスカと厚手の茶色いタイツ。そして彼女の鼻下ひげ。笑いをこらえて、チップをはずむ…。

これがミレニアムのつなぎ目となった典型的な「ロシアの冬」であった。

Зима 1999 года. Чтобы встретить новое тысячелетие вместе с нашей русской ветвью, мы с женой, взяв отпуск чуть дольше обычного, отправились на мою родину (сейчас это российский анклав) — в Калининград. Следующие две недели — сплошной праздник! Католическое Рождество, Новый год, православное Рождество, старый Новый год, — непрерывные пирушки с многочисленными возлияниями в кругу родных и друзей.

После горячего приема в виде водки и пельменей в легком подпитии мы приступили к украшению ёлки. Протокол такой: достаешь попавшиеся под руку ёлочные игрушки из старинного крепкого чемодана, в котором они отлеживаются со старого Нового года до середины декабря; раскладываешь их на полу; затем выбираешь и развешиваешь понравившиеся. От пыли першит в горле, по очереди чихаем. Пробувнив что-то себе под нос, мама двумя руками, медленно и осторожно, чтобы не рассыпать скопившуюся пыль и не осколки битых игрушек, достает со дна чемодана старую газету, относит ее на кухню и стряхивает в мусорное ведро; потом снова стелит ту же газету. Операция «Ёлка» продолжается. Бросаю беглый взгляд на газету — и замираю: она на пять лет старше меня, родившегося в 1972 году. Победы в космосе, Пленум ЦК КПСС и т.д. и т.п. — от газеты веет ее эпохой. Вот он — перекресток на дорогах времени и пространства. Ощущение сопричастности



ロシアで新世紀を迎えたコンスタンチンさんご夫妻

мистической Тайне. Щекотно от пробегающих по спине мурашек.

Я родился и вырос в Советском Союзе, а треть жизни провел в Японии, и в какой-то момент возвращение на родину превратилось для меня почти что в приключение. Там все смешивается: реминисценции, новые находки и откровения. Каждый раз я забираю с собой в реальный мир (в Японию) новый набор символов, которые здесь, в Японии, кажутся не чем иным, как плодом хитрой игры памяти и воображения. Снег, падающий из кондиционера в поезде московского метро... Мамаша в мехах героически тащит за собой деревянные санки, на которых гордо восседает отпрыск, еле двигающийся из-за нескольких слоев спеланувшей его одежды, а в руке мальчишки — эскимо... Обход друзей с новогодними поздравлениями и непременно бутылками «Советского шампанского»... Официантка неопределенного возраста в одном из московских кафе. Мини-юбка и коричневые толстые колготки. Плюс густые усы над верхней губой. С трудом сдерживая смех, не скуплюсь на чаевые...

Обычная русская зима на стыке тысячелетий.

「韓流」対「ニッポンフィール」

翻訳部 李幸子

日本では最近ヨン様・韓流熱風で熱いが、韓国でも日本に対する関心がますます深まる一方だ。

いわゆる「ニッポンフィール」と呼ばれる日本文化ブームだ。最近、韓国では日本文化開放とともに若者達の間で、日本式に着て、食べて、遊ぼうという「ニッポンフィール」が広がっている。「ニッポン(Nippon)」に英単語「フィール(feel)」を付け加えた、最新の日本文化を称える流行語で、「ヨン様」に負けていない。

日本での韓流熱風が中年以上の女性たちの間で広まっているのに対して、「ニッポンフィール」は韓国の若者達の間で流行っている。流行に最も敏感なファッション街はもちろん、食文化にもすでに浸透している。ソウルのあるデパートでは、日本式のお弁当を求めて集まる人々の足が絶えず、お好み焼きやたこ焼き、かまぼこ等は日本の代表的な食べ物として誇らしげに店頭並び、ラーメンの屋台もよく目にする。また、ヨーロッパ風が人気だったベーカリー業界でも日本風が流行っている。「エグチ」と「コピヌ」などはデパートに入店している代表的な日本のベーカリーブランドで、やや値段が高いかかわらずファン層が形成されている。それに、ルノー三星 SM3、ダンキンドーナツ、KT&G、OBキューバック、パリバゲット、KBカード、ING生命、テイスターズチョイス、KTFなどの広告には日本人モデルが登場する。ほとんどすべての業界で日本人モデルブームが起きていと言っても過言ではないだろう。

このような現象、すなわち日本の韓流や韓国のニッポンフィールブームは、文化の世界化の一つだろう。新しく、珍しい文化を直接体験したがる若者特有の欲望が、歴史や政治の問題にこだわらないのだと思う。

韓国は今、「ヨン様」が主導する韓流熱風で熱い日本のように、「ニッポンフィール」という日本文化が徐々に入り込んでいる。これからどんな形で、新韓流・新ニッポンフィールが現れるかが楽しみだ。

‘한류’對 ‘닛폰필’

요즘 온사마로 일본은 한류열풍의 도가니. 그에 못지않게 한국에서도 일본에 대한 관심이 상승 추세이다.

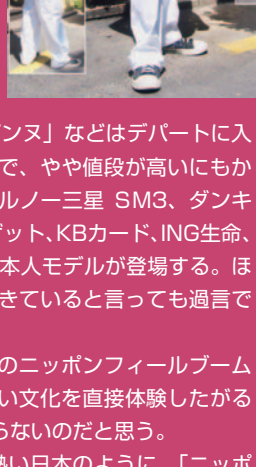
이른바 ‘닛폰필’이라고 불리는 일본문화 바람이다. 한국은 지금 일본문화 개방과 함께 젊은이들 사이에 일본식으로 입고 먹고 놀자는 닛폰필이 붐을 이루고 있다. ‘닛폰(Nippon)’에 영단어 ‘필(feel)’을 덧붙여 만든 일본문화를 일컫는 유행어로 온사마에 버금간다.

일본에서 한류열풍이 중년 이상의 여성들 사이에서 확산되고 있는 반면, ‘닛폰필’은 한국의 젊은층 사이에 눈에 띈다. 유행에 가장 민감한 패션가는 물론, 식문화에도 일본풍이 침투해 있다. 서울의 한 백화점에서는 일본식 도시락을 파는 매장에 사람들이 발길이 끊이지 않으며, ‘오코노미야키(일본식 민대떡)’, ‘다코야키(문어빵)’, ‘가마보코(어묵 튀김)’ 등은 대표적인 매대 음식으로 자리잡고 있으며, ‘라면(일본 라면)’을 파는 포장마차도 흔히 볼 수 있는 풍경이다. 또한, 유럽풍이 강세였던 베이커리 업계에도 일본풍이 거세다. ‘에구찌’와 ‘코핀즈’ 등은 백화점에 입점해 있는 대표적인 일본식 베이커리 브랜드로, 다소 비싼 가격에도 불구하고 매니아층이 형성되어 있다.

더 나아가, 르노삼성 SM3, 던킨 도너츠, KT&G, OB큐백, 파리바게뜨, KB카드, ING생명, 테이스터스 초이스, KTF 등의 광고에 sms 일본인 모델이 등장한다. 거의 모든 업종의 광고에서 일본인 모델들이 불고 있다해도 과언은 아니다.

이런 현상, 즉 일본의 한류나 한국의 닛폰필 붐은 문화의 세계화 현상의 하나일지도 모른다. 새롭고 특이한 문화를 직접 체험해 보고 싶어하는 젊은이 특유의 욕망이, 역사나 정치 문제에 더 이상 얽매이지 않는다는 것을 보여주는 한 예라고 생각된다.

한국은 지금, ‘온사마’로 대표되는 한류 열풍으로 뜨거운 일본만큼이나, ‘닛폰필’이라는 일본문화의 바람이 서서히 불고 있다. 앞으로 어떤 분야에서 새한류·새닛폰필이 등장할 것인지 사뭇 궁금해진다.



韓国のホームページで紹介されているニッポンフィールなファッション。

文字っておもしろい



文・イラスト
営業企画部 慎 佳代子

こんにちは。3月に入社して2回目のナルゲです。前回はKBS社員旅行の記事をイラスト入りで書かせて(描かせて?)いただきましたが、今回は文字について文章をメインに…。

私は昔から絵を描いたり、物を作ったりする事が大好きでした。図工の時間は大好きでしたが勉強はからっきしで、化学構造式をみても複雑になればなるほど「きれいな模様…」と思い、数学のΣ記号やβ記号をワープロで打ったかのように美しく書くことに熱中してみたり、勉強に対する根本的な勘違いをしていたものです。私は、文字を「意味のある字」と認識する前に、一つのイラストとして形が良いか悪いかなどを見る癖があるようです。KBSに入社して日本以外の諸国の文字を見る機会が増えましたが、その癖が抜けていないようで、アラビア語等を見た時はうっとりし



てしまいます。(笑)

さて、「文字をイラストとして認識…」と書きましたが、皆様もご存知の通り古代には実際に絵を文字として使用していた象形文字が存在します。人や月・山など絵を描いてその意味を伝えるうちに簡略化され共通の「文字」として使用されるようになりました。なかでも甲骨文字は現在発見されている中国最古の文字で漢字の元になった文字でもあります。いくつかをイラストで紹介します。

これ以外にも「五」は、木を斜めに交差させて作った蓋の形を表した象形文字です。この字は蓋の意味から、守る・防ぐという「護」の意味を持ちます。この字で、数字の5の意味を持つのは、音が同じであったためと言われています。また、「玄」という字は糸束をねじった形の象形文字です。糸を染める時ねじった状態で染め、白から異なる色になることから「黒」の意味を持ちます。色としては、真黒ではなくて、赤みがかった黒です。その色のイメージから奥深い・しずか、という意味も生まれました。

どうでしょう? ほんの豆知識程度ですが、面白いと思いませんか? 漢字以外にも世界の文字にはきっと意味があってきたんでしょうね。また、情報を仕入れた際にはここに掲載させていただきますので、乞うご期待を…。(笑)



「JGAS2004印刷ビジネス交流展」に出展

■2004年7月14日～17日
■東京ビッグサイト

代表 高 允 男

3月にインテックス大阪で開催されたJP2004に続き、日本最大の印刷関連展示会、JGAS2004に出展しました。今回のJGAS展は「印刷産業創世！ 自己発信・ネットワークの時代 パートナーを探せ！」をテーマに、7月14～17日の4日間にわたって開催され、総入場者数98,800人と賑わいを見せました。

KBSのブースは、春に開催されたJP2004と同じ出展内容で、少し場所が良くありませんでしたが、それでも日本各地から来られたお客様に立ち寄っていただき、KBSの多言語ソリューションをアピールしました。



多言語自動組版のプレゼンをする李次長



外国からのお客様も

田庭チーフは積極的にお客様を誘導



KBSブースのスタッフ全員で

花火大会 2004

制作部 山蔵 一彦



KBS恒例の、焼肉・花火大会が8月3日淀川河川敷で行われました。当日は雨に降られることもなく、心地よい天気でした。

場所取りをするため現地に到着すると、素振りをする高校球児の姿があちらこちらに…。某高校野球部が夏の甲子園大会に向けて合宿を張っていたのです。そんなひたむきな練習風景を尻目に、私たちは素知らぬ顔で、会場の設営を始めました。

会場設営完了。女性陣は料理の準備、男性陣は炭火をおこす準備。おいしいお肉をいただく前にまずは運動でもしましょうか？ ボールを蹴ったりして遊びます。芝生がきれいに生えていて、走り回っても気持ちいい。いつも思うのですが、こんな場所、今時の都会にはないですね。芝生の上を、ここぞと走り回る。すぐにバテる。日頃の運動不足のせいでしょう。ビール片手にひとやすみ♪ これぞ、野外バーベキューの醍醐味。とても満足です。ひと通り遊び終わると、肉を本格的に焼き始めます。

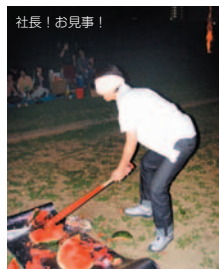
参加者は18人で、乾杯の首領（誰か忘れた）でビールを飲んで、焼肉を食べて食べて食いきる。やっぱりビールと焼肉は、よく合いますね。夜も更けると酔った人もちらほらと。花火大会だけに、そろそろ花火をしましょう！ 今年は打ち上げ花火もたくさんです。河川敷に電灯はありませんが、花火の明るさと、ビル看板の照明が相まって、きれいな光景となりました。

見せ場は、李次長と慎さんとのギターセッション「イムジン河」。このような歌が聴けるのもKBSだからでしょう。すてきな歌をありがとうございました。

最後にスイカ割りや記念撮影を行い、今年も無事に花火大会を締めくくることが出来ました。



料理準備中の図



社長！お見事！



ギター姿、キマリまくり盛り上がりましたね



割ったスイカは分ける



目の前に迫りくる3D花火を満喫



最後に参加者全員で記念撮影



稲木チーフ、火おこし手慣れたもんです



「おっ、いい味あるじゃない？」スイカ割りのスイカでくつろぐ上間部長



「うむ、今日も上出来だな。」と満足していただけましたでしょうか？^^

韓国映画との 出会い

～ミーハー道
ここにあり～

森本ナオユキ

(KBSまだん韓国語講座 木曜コース受講生)

奇特定の映画ファンである私の友人が、年に一度映画の短評をミニコミ誌にまとめて配布している。内容は、劇場・レンタル・テレビを問わず、最近一年間に観た映画の点数と短評を集めたもので、知人達から原稿を集めてまとめられる。毎年20数名程が参加し、作品数で400～500本、500～600本以上もの短評が集まる。私は8年前から原稿を書いているが、もともとは映画ファンなんかじゃなくて、ミニコミ誌に参加するのが好きで映画を観始めたんだ。

最初の頃は「書くために観る」みたいな感じだったが、年間10数本程度だったものが次第に本数が増えていった。洋画も観れば邦画も観たが、どちらかといえば邦画中心だった。西洋の画面になかなかなじめないのと、やっぱり女優さんは東洋女性が好き、スキ！という単純な理由からだ。

そんなある日、一本の韓国映画を観ることになった。いつもの日常からはこの出会いは生まれなかっただろう。というのは、仕事中にギックリ腰になってしまい、直すために一日中横になっていたとき、ぼんやり眺めていたテレビで始まったのが、韓国映画だったのだ。

韓国の映画を観るのは初めてだった。それまで邦画・洋画・アニメ・香港映画と年に数十本も観ていたけれど、「へえ～、韓国にも映画があるんだ」などと思ってしまったくらい何も知識がなかった。始まった作品は、『接続～ザ・コンタクト』。私にとっての韓国映画との、そして韓国とのファーストコンタクトだったといえる。正直、それほど衝撃的な出会いだったわけではない。チョン・ドヨンには惚れたが、このときは数ある映画の中の1本に過ぎなかった。

その後DVDプレーヤーを購入し、手軽に味わえる美しい映像に、ますます映画にのめりこんでいった。その過程で出会ったのが、『シュリ』を始め『八月のクリスマス』『美術館の隣の動物園』等の秀作であり、シム・ウナという女優である。もともと、キャメロン・ディアスやメグ・ライアンなん

かより松嶋菜々子やアニタ・ユンの方が絶対かわいいしきれいだし好きだ！と思っていた私が、清楚な魅力あふれる彼女のファンになるのに時間はかからなかった。

この頃から、積極的に韓国映画を探そうになっていた。何本か観ていく中で、『JSA』で美しい将校を演じていたイ・ヨンエ様との出会いは衝撃で、あまりの美しさに目がつぶれちゃうんじゃないかと思ったくらいだ。もともと女優さん目当てで作品選びをしていた感のある私は、「韓国映画はイイ！」と確信した。

そして、『イルマーレ』『リメンバー・ミー』との出会いが、完全に私を韓国映画の虜にしたのである。偶然どちらもラブファンタジーだが、『イルマーレ』では、美しい映像と音楽、そしてチョン・ジヒョンちゃんのかわいさに心奪われ、『リメンバー・ミー』では、綺麗で悲しいストーリーと、ハ・ジウォンちゃんのキュートさにノックアウトされてしまった。この2本でメロメロになってしまったと言っている。

その後、色んな作品を次々と観ていった。その頃は韓流ブームが来る前で情報も少なく、韓国映画を取り扱う雑誌やファンサイトも少なかった。「好きな人はすごく好きだけど一般にはあまり知られてない」というマイナーな感じが、私の嗜好にピッタリはまり、どんどん深みに入ってしまった。インターネットや雑誌で少ない情報を集めては、DVDを購入し、ビデオをレンタルし、遠方の映画祭にも出かけた。

そんなことをしながら、ついに韓国語学習を始めることになった。40を過ぎての手習いである。しかも外国語である。「映画を観る楽しみをひとつ増やそう」という程度に思っていたが、「これはもう言葉を勉強するしかない！」という一念発起的な思いもあったかもしれない。そして、NHKのラジオ講座を聞き始めた。

全くのゼロからスタートだった。ABCやワンツースリーなら子供でも知っているが、カナダラやハナトゥルセツを40過ぎて一から学ぶのは骨が折れた。でも、「自分が韓国語を勉強するなんて…」という状況を楽しみつつ、その頃テレビ講座に出演していたユン・ソナちゃん笑顔に励まされながら、こつこつ独習を続けた。

ちなみにうちの嫁様は、若いころに韓国語サークルに入っていた経験があり、韓国エンタメへの



ソウル仁寺洞でショッピング（左端が筆者）
（第2回「まだん韓国研修旅行」2004年11月）

興味もそれなりに持っていて、シンファを聞いたり友達からイケメン情報をゲットしたりしていた。

その頃、映画ではないのだが、日本のTBSと韓国MBCが共同制作した『フレンズ』というドラマを観てウチらバカ夫婦は完全にはまってしまったのである。上下巻合わせて3時間半くらいあるのだが、DVDを購入してきた日から、上下、上下、上下、と4夜連続放映になってしまったのだ。当時一番人気だったウォンビンと深田恭子とのかわいいラブストーリーもよかったし、ソウルの観光地がふんだんに映し込まれている点も作品の魅力だった。

そして、「もうこれは行くしかない！」ということで、おバカ夫婦はお揃いで2度にわたってソウルに出かけ、仁寺洞、新村、マロニエ公園、手形広場…と映画やドラマのロケ地を巡った。さすがに嫁様は「つぎは韓国以外のところに連れて行ってくれ」と言っている。

そうこうしてるうちに、縁あって「まだん」の韓国語教室にお世話になることになり、今に至る。思えば、この教室とも本当によい出会いだった。高会長や金先生をはじめお世話になっている皆様には、チョンマル感謝している。おかげで、何とか今年は、ハングル能力検定の3級と、韓国語能力試験の2級に合格した。ゼロスタートの頃を思うと「なかなかなん」と内心密かにほくそえんでいる。しゃべる方は、圧倒的な練習不足のうえ、精神的なプレーキも邪魔をしてまだまだだが、今後すこしずつ練習を重ねていきたい。これからもチャル・ブタッカムニダ。

長くなってしまった。お読みくださり、カムサハムニダ。結局のところ拙者、ただの「ミーハー」ですから～！ 残念！

編 集 後 記

●今号の高仁鳳会長の力作「『鳳bong@の昔を訪ねて』、お読み頂きましたでしょうか。戦争と混乱の時代を生きてこられた事実の重みを感じずにおれません。私も昨年、久しぶりに韓国へ行って来ました。豊かさや自由のエネルギーを体いっばいに感じて。素晴らしい音楽に出会うこともできました。今年もテーマを「韓国」にして、ことばと文化を自分の中に取り込んでいこうと思いません。心の向くままに。(sute)

●早いものでKBSに入社してより4年の歳月が流れ、制作から工務、翻訳までさまざま経験させて頂きました。こんなにも居心地の良い、国際色あふれる得難い職場を離れるのは本当に残念なのですが、編集を担当するのは今号が最後となりました。皆さまのお手元に届く頃には私はKBSにおりませんが、皆さまのご健康とますますのご発展をお祈り申し上げます。大変お世話になりました。KBSでの経験を活かし、夢を胸に抱きつつ前進して参ります。さあ、人生第二章のスタートです！（たにわ）

発行日 2005年1月1日

発行/編集 ケイビーエス株式会社
〒544-0033
大阪市生野区勝山北2-16-17
電話 06-6716-5665
FAX 06-6711-2804
E-mail info@kbsjapan.com
URL http://www.kbsjapan.com/

制作メモ 使用アプリケーション
Adobe InDesign CS
Illustrator 8, Illustrator 10
Photoshop CS, Acrobat 6

「いいです。」

KBSまだん韓国語講座
月曜コース担当

益田 治

日本語の「いいです」という言葉にはいろいろな意味があります。「よい」、「かまわない」「いらぬ」「大丈夫」などがそうです。今回は、このいろいろな意味の「いいです」を、韓国語ではどう表現しているか見てみましょう。



まず、「良い」「good」という意味で用いる場合の「いいです」は「**좋다/よい**」をつかって「**좋아요**」といいます。「**天气がいいです/날씨가 좋아요**」「**性能がいいです/성능이 좋아요**」「**気分がいいです/기분이 좋아요**」というふうに言います。誘われたときに「**좋아요**」といえば、積極的な肯定になります。

次に、「～してもよい」「OK」という意味で言う「いいです」の場合には「**되다**」を用



いて「**돼요**」といいます。「**되다**」というのは「成る」という意味で、「春になる/**봄이 되다**」「大学生になる/**대학생이 되다**」などというふうに使われます。これを「～してもよい」という意味で用いるのです。現代日本語では「よい、かまわない」ということを「なる」とは言いませんが、逆に「ダメ」という場合、「～してはならない」と、「なる」の否定形を用いますね。だからその反対の「なる」は「OK」だと理解していただけたと思います。ちなみに韓国語でも「ダメ」の場合は同じく否定形を用いて「**안돼요/なりません**」といいます。

三番目に、「いらぬ」というときにも「いいです」と言うことがありますね。この場合には同じく「**되다**」を使うのですが、「OK」の時とは違って、過去形を用いて「**됐어요**」といいます。なぜ過去形を用いるのでしょうか。「成る」の過去形は「成りました」です。相手からの提案に対して「成った」とはどういうことでしょうか。それはつまり、「成った」「できあがった」「足りている」ということです。だから「必要ない」「いらぬ」ということになるのです。日本語では「OK」

の場合も「NO」の場合も、どちらも「いいです」を使うので、相手の真意がわかりにくいことがあります。韓国語では同じ「**되다**」を使っても現在形なら「OK」、過去形なら「NO」なので間違えることはなさそうですね。



この他に、「**괜찮다**」を使って言う「**괜찮아요**」という言葉も、可否両方の「いいです」の意味で用いられます。本来「大丈夫だ」「かまわない」という意味ですので、「OK」の意味ですが、誰かが手助けをしてくれようとした場合などに、「**괜찮아요**」と言えば、「かまいません」「大丈夫です」つまり「いりません」ということになり、「**됐어요**」と同じ意味になります。

「いらぬ」という意味で「いいです」と言いたい時、どう言えばいいのか迷っている人をよく見かけますが、間違えても「**좋아요**」とは言わないように注意してくださいね。まったく逆の意味になってしまいますよ(笑)。「いらぬ」=「**됐어요**」も「**좋아요**」とあわせて覚えておきましょう。「NO」をはっきり言うことも大切です。

「いらぬ」という意味で「いいです」と言いたい時、どう言えばいいのか迷っている人をよく見かけますが、間違えても「**좋아요**」とは言わないように注意してくださいね。まったく逆の意味になってしまいますよ(笑)。「いらぬ」=「**됐어요**」も「**좋아요**」とあわせて覚えておきましょう。「NO」をはっきり言うことも大切です。

TAGENGO SPACE
KBSまだん
마당

使える韓国語を
学びます!

☆月曜日コース
☆木曜日コース
PM7:00～9:00

●韓国映画上映会や年1回の韓国研修旅行も
行っています。



第2回韓国研修旅行(2004年11月)

韓国語講座

*受講ご希望の方は、お気軽に
お問い合わせ下さい。

☎06-6716-5665

CALENDAR 2005

□ はケイビーエス休業日です

①	日 月 火 水 木 金 土	②	日 月 火 水 木 金 土	③	日 月 火 水 木 金 土	④	日 月 火 水 木 金 土
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
	13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31		13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28		13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31		13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
⑤	日 月 火 水 木 金 土	⑥	日 月 火 水 木 金 土	⑦	日 月 火 水 木 金 土	⑧	日 月 火 水 木 金 土
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
⑨	日 月 火 水 木 金 土	⑩	日 月 火 水 木 金 土	⑪	日 月 火 水 木 金 土	⑫	日 月 火 水 木 金 土
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31